



◎よゝすまい、日本は世界の観光地

お話をきき、更に同校の好意で専用のスクールバスで、県営体育館、NHK放送会館などを、同日荒町にある福島ステーションホテルで休んで帰った。



スクールバスで一めぐり お母さんの社会見学

国見町町人会連絡協議会(二十六日、福島方面に社会見学会長八島アキさん)では、リ学を実施した。

七月二十日午後一時半から青年研修所で、青年学生協会の父兄会が行われた。出席者は少なかったがそれだけに公民館側との話し合いは青年教育の核心にふれたものが多かった。左にその要点を摘記する。

- 1 学習日があわさってはいれば仕事を早く出して出社してやる。友だちと呼びかけてはじめておわらした。
2 帰宅時間がありおおいと心配だ。一定しておいて。
3 回数について。
4 1月五、六回の学習に対し、役員は他のグループの役員も兼ねている。

帰る時間をはつきりと!

- 1 昔は人目しのでこっそり帰った。今は、公然と話し会えるのは幸せだ。
2 男女相互に相手を見る目を養うことが大切。
3 それぞれの部落ごと、3人組を送り届けるようにしている。

ゴミは自分で処理しよう 旅の新生活運動とは

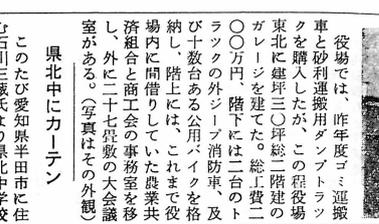
海水浴や登山に、あるいは旅行や観光旅行に、人の群が流れるシーズンとなつたが、若い男女や家族づれの旅行者や各種団体の方々は、パークスを乗しむためのマナーやエチケットに欠ける点はないでしょうか。文化国家にふさわしい市民性を育て、うろおひのある生活をすすめるため、国土を美しくする運動の一つとして、旅の新生活運動が展開されています。

ちとせ号大はんじよう

高血圧やがん、心臓病などの成人病は「早期発見」「早期治療」が大切である。八月二日、財団法人福島県成人病予防協会の成人病検診が、次の場所で行われ、実改めなければだめだ。

経済的安定を因つてやろう 老人をどう処遇するか

老人は食わせてさえおけばいい、というところでは、おが国にも七十七歳以上の老人に対して「福祉年金」の制度ができた。それがあまりに小額であり、またいろいろの制約があり、それをうけられない老人も多いのです。ですから



「ふくしま歴史散歩」をみる

毎週金曜日 午後六、四五、七、〇〇 午後一、〇五、一、二〇 NHK福島放送局では、このNHK放送局が完成したのを機会に、「テレビ談話室」で「郷土のしおり」の話題を、など、ほとんど毎日のように県内各問題について放送しているが、「ふくしま歴史散歩」もその一つで、なかなかおもしろく視聴していただくと紹介する。これは、私たちが福島県民の祖先がどのように生きてきたか、現代の眼でもう一度見直し、そこから何らかの教訓を学ぼうとするものである。単に「昔を懐かしむ」ものではなく、それぞれの時代に私たちが祖先がどのように行動したかを知り、今

お化粧始まる

昨年大木戸農場で試験的に作って自給自足の町名産リンゴの人工着色を、これは本格的にやろうと、特派課長八島福太郎氏を中心に関係者一丸となって活動している。着色場は、農協本所前広場に、更に大木戸支所前二〇〇坪を活用して設備し、一坪当たり五箱、一回二、四〇〇箱を処理する計画でその成果が注目されている。

役場に ガレージ



役場では、昨年度ゴミ運搬車と砂利運搬用ダンプトラックを購入したが、この程度東北に経坪三〇坪、二階建てのガレージを建てた。総工費二〇〇万円、階下には二台のトラックの外ジブ消防車及び十数台ある公用バイクを格納し、階上には、これまで役場内に開けられていた農業共済組合と商工会の事務室を移し、外に二十七世の大會議室がある。写真はその外観。